

「2019 年度次世代エネルギーワークショップ(学生編)」(東京会場)の開催について

次世代エネルギーワークショップ推進委員会

2019年9月3日(火)、4日(水)、東京都市大学(東京都)において、全国の学生達が一堂に会し、30年後の日本のエネルギー選択をテーマに徹底討議する「2019 年度次世代エネルギーワークショップ(学生編)」(東京会場)を開催します。

1. 背景

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故をきっかけに、長期を展望したエネルギー選択は、国にとっても、国民一人一人にとっても重要な課題となっています。また、パリ協定が発効(2016.11)し、脱炭素社会の実現の観点からも、長期的視野に立ったエネルギー選択の議論は一層重要性を増しました。

この議論には、国民の参加、特に未来社会の主役となる若い世代の参加が何よりも求められます。

2. ワークショップの目標

「次世代エネルギーワークショップ」は、「30年後のエネルギー選択を考える」をテーマとします。

エネルギー・気候変動に関する基礎的な知識を習得し、専門家によるレクチャーと質疑応答を経て、多様な価値観・意見を有する同世代間で議論を闘わせ、熟慮し、参加者たちが社会のリーダー的立場となっている2050年を想定して、30年後のエネルギー選択について確たる意見に到達することをめざします。

本プログラムは、参加・熟議型のエネルギー教育プログラムです。

参加者全体で一つの結論をとりまとめ、対外的に働きかけることを目的とするものではありません。次代を担う若者たちに、立場や価値観の違いにより、様々な意見があり、利害が錯綜するエネルギー問題について、他者の意見をよく聞き、熟慮し、自分の意見を主張し、噛み合った議論をとことん行い、そして自分としてコミットできる意見に辿り着く努力をする。こうした能力を身につけてもらいます。

3. 2019 年度次世代エネルギーワークショップの概要

➤ 実施体制

主催……次世代エネルギーワークショップ推進委員会(メンバーは、4頁の参考1を参照)

共催……一般社団法人 環境政策対話研究所

文部科学省、環境省、資源エネルギー庁、公的機関、民間団体等の後援、協力等の実施体制の構築を進めます。

➤ 日時、場所

| | 日時 | 場所 |
|------|---|---|
| 東京会場 | 2019年9月3日(火)、4日(水) 3日…11時～18時15分 終了後懇親会 4日…9時～16時45分 | 東京都市大学□二子玉川夢キャンパス 158-0094 東京都世田谷区玉川 2-21-1 二子玉川ライズ・オフィス 8階 TEL 03-5797-9504 |

➤ 参加者………大学生、大学院生、高等専門学校生、合計45名程度

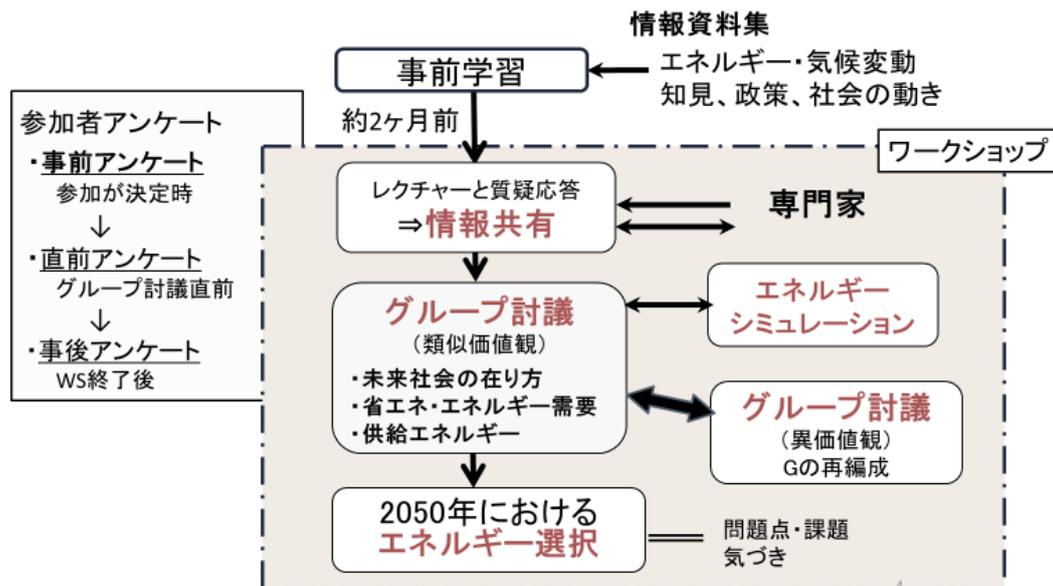
文系、理系、専門分野は問わず。日本語での討議能力のある留学生も含まれます。

▶ ワークショップの進め方

ワークショップの中心は、学生同士の対話であり、「4～7 名程度のグループ討議」を基本とします。参加者が意欲的に持論を発表し、他者の発言に耳を傾け、活発に議論を闘わし、目標に向けて議論を進めます。ワークショップの進行は次の2つを柱とします。

- A 参加者がエネルギーに関する「基礎情報を共有」すること
- B 基礎情報の共有の上に立って、参加者が「グループ討議」を重ね、熟慮し、それぞれが確たる意見にたどり着くこと

ワークショップの流れは図のようになります。



- ① エネルギーに関する知識の習得(情報資料集)
- ② 専門家のレクチャーと質疑応答…エネルギー問題の本質を知り、疑問点の解消を目指す。
- ③ グループ討議…多様な意見や価値観を有する同世代の他者と議論を深め、エネルギー問題を自分ごととして熟慮し、自分の意見を探り求める。
- ④ エネルギーシミュレーション…討議結果が 3E+S(経済効率性、安定供給、環境適合性、安全性)を満たすか等、定量的な検証を試みる。
- ⑤ 自分ごととしてコミットメントできる結論に到達
- ⑥ 発表……グループごとに、結論を発表

▶ ワークショップの成果(発表内容)

- ・ 30 年後(2050 年)に目指すべき「理想の未来社会像」
- ・ エネルギー選択において重視した視点:「こだわること」「負わざるを得ない不利益」
- ・ 未来社会における「エネルギー消費量・省エネルギー・電力消費量」
- ・ 未来社会で消費する電力を供給する「電源構成」
- ・ 未来社会における「脱炭素化の達成と実現のための課題」
- ・ 以上の検討によって得られた「気づき・討議の論点や争点・残された課題」

▶ ワークショップの円滑な実施

- * 主催者は、公平・公正な運営管理に徹します。
- * 参加者の情報や知識に、できる限りの共通基盤が形成されるよう、エネルギー問題、気候変動問題に関する情報資料集(100 ページ程度)を活用します。参加者にはワークショップの約 40 日前に送付します。
- * ワークショップには、エネルギー・気候変動問題の専門家が出席し、知識の習得やエネルギー選択について、必要な助言等を行います。
- * エネルギーシミュレーションを用います。知識学習やグループ討議を通じてたどり着いたエネルギーの選択について、3E+S の視点などに照らした検証や、矛盾点や検討の不足等の確認を行います。
注:シミュレーションは、(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)と(独政)国立環境研究所が開発した[2050 低炭素ナビ]に、本ワークショップのために微修正・調整を加えたシミュレーションモデルを活用します。
- * 討議は、予め用意された討議手法を用い、経験豊かなファシリテーターの進行に従って進めます。

5. 参加費用

- * 参加費は 1 人 3000 円です(テキスト代、昼食費用等を含みます)。
- * 遠方からの参加者に対しては、旅費/宿泊費の支援をします。宿泊は、原則として主催者が用意した会場近傍のホテルを利用させていただきます。

ホテル・・・川崎市の溝の口駅近傍のホテルを予定。会場から 20 分程。

東京駅から・・・地下鉄を乗り継いで 35 分程度

品川駅(東海道新幹線)から・・・JR 京浜東北線で大井町に、東急大井町線に乗り換え、30 分程。

羽田空港から・・・京浜急行にて品川に、あとは上記と同じ。50 分余り。

6. 備考

- ・ 本年度の「次世代エネルギーワークショップ(学生編)」は、東京会場と名古屋会場の 2 回開催します。ここで紹介しておりますものは、東京会場のワークショップです。名古屋会場に関しましては、6 月頃にご案内いたします。
- ・ 「2019 年度次世代エネルギーワークショップ(学生編)」は、多くの研究機関、NPO 法人、団体組織の支援や協力を得て、それらの団体組織との連携の下に実施します。
- ・ ワークショップの結果は、HP などで公表します。責任を持って発言者が特定されないよう措置します。
- ・ 個人情報の管理には十分な注意を払います。
- ・ 傍聴は、会場の都合から最大 20 名とさせていただきます(エネルギー・環境分野の教育・研究や人材育成に関わっている方等を優先します)。傍聴に際しては、静穏な雰囲気維持に協力頂きます。また、発言者の特定化につながるようなワークショップ後の活動等は一切お控え頂きます。

7. 今後のスケジュール

| | |
|---------------------------------|-------------------|
| 参加学生の決定 | 2019 年 7 月初旬 |
| 参加者 事前アンケート | 2019 年 7 月中旬 |
| 情報資料集の事前配布 | 2019 年 7 月下旬 |
| ワークショップの開催 (期間中、2 度のアンケート実施) | 2019 年 9 月 3, 4 日 |
| 結果のとりまとめ | 2018 年 10 月下旬 |

＜参考1＞次世代エネルギーワークショップ推進委員会メンバー

委員長 柳下正治(一般社団法人環境政策対話研究所代表理事、上智大学客員教授)

委員 秋元智子(地球温暖化防止全国ネット専務理事)

上木原弘修(一般社団法人ワーク・アット 代表理事)

木村 浩(NPO 法人パブリック・アウトリーチ 研究企画部研究統括)

佐藤真久(東京都市大学環境学部・大学院環境情報学研究科 教授)

藤木勇光(電源開発株式会社 秘書広報部専任部長)

村上千里(公益社団法人消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)理事、環境委員長)

＜参考2＞次世代エネルギーワークショップのこれまでの実績等

次世代エネルギーワークショップ(学生編)は、2011年の原発事故を契機として2013年度より実施してきてきました。2016年度より対象を社会人にまで広げ、次世代エネルギーワークショップ(若手社会人編)を実施し、2017年度より地域社会において市民を対象としたワークショップを試行しています。

また、全国の6大学においては、講義や演習の中にエネルギーワークショップの手法を取り入れたアクティブラーニングを実施いただいていますし、2017年度からは、高等専門学校での講義にも適用する取組みを進めてきています。

「一般社団法人環境政策対話研究所」は、次世代エネルギーワークショップ推進委員会の指導の下、情報資料集の更新、ファシリテーションの人材育成のための研修会の開催、エネルギーシミュレーション技法の改善等を引き続き進め、様々な主体による実施を可能とするための支援システムの構築など、若者を対象としたエネルギー教育プログラムの一層の普及定着に向けて取り組んでいます。

参考までに2013～2017年度の5カ年間に開催された「次世代エネルギーワークショップ(学生編)」の参加が大学数、参加学生数を以下の表のとおりお示しします。

| 年度 | 参加大学等の数 | 参加学生数 | | | |
|------|--------------------|-------|------|------|----|
| | | 男性 | 女性 | | |
| 2013 | 5 | 20 | 8 | 12 | |
| 2014 | 14 | 38 | 22 | 16 | |
| 2015 | 22 | 50 | 26 | 24 | |
| 2016 | 名古屋会場 | 18 | 32 | 19 | 13 |
| | 東京会場 | 24 | 35 | 19 | 16 |
| 2017 | 29 | 45 | 26 | 19 | |
| 合計 | 112校(実質52校)うち3校は高専 | 220名 | 120名 | 100名 | |

次世代エネルギーワークショップ推進委員会事務局

一般社団法人環境政策対話研究所

大石千尋 小林綾子

〒160-0015 東京都新宿区大京町31-22 エクレール外苑西202

Tel: 03-6883-8865 E-mail: office@inst-dep.com